Economic Indicators

定例経済指標レポート

テーマ：景気動向指数（2017年２月）の予測

発表日：2017年４月３日（月）

～景気は回復基調持続～

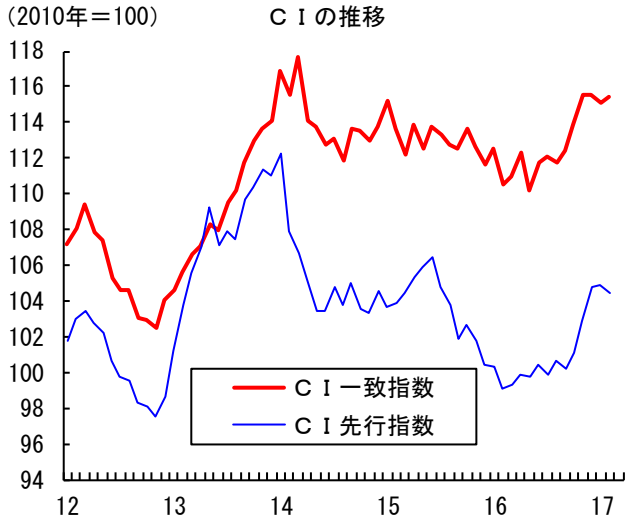
第一生命経済研究所　　経済調査部
担当　主席エコノミスト 新家 義貴
TEL:03-5221-4528

○ＣＩ一致指数は前月差＋0.3ポイントを予想

内閣府から４月７日に公表される2017年２月の景気動向指数では、ＣＩ一致指数を前月差＋0.3ポイントと予想する。１月は前月差▲0.4ポイントと５ヶ月ぶりに低下していたが、これは中華圏の春節のタイミングのズレによる下押しの影響が大きかった。２月は春節が逆に生産押し上げに働いたことで、ＣＩ一致指数も上昇に転じた形だ。均してみれば、ＣＩ一致指数は上昇傾向にあると評価してよいだろう。２月の内訳では、小売業販売額や有効求人倍率などがマイナス寄与となる一方、鉱工業生産指数や生産財出荷指数、耐久消費財出荷指数などの生産関連系列の押し上げが目立ち、全体ではプラスになったとみられる。

また、２月のＣＩ先行指数は前月差▲0.4ポイントを予想する。５ヶ月ぶりの低下ではあるが、これまでの上昇分が大きかっただけに、さして問題はないだろう。先行ＣＩは16年２月を底として持ち直し傾向にあり、特に昨年11月以降は改善ペースが加速していると評価できる。なお、２月の内訳では、最終需要財在庫率指数がプラス寄与の一方、新設住宅着工床面積や消費者態度指数などの押し下げが大きかったとみられる。

なお、内閣府によるＣＩ一致指数の基調判断は、５ヶ月連続で「改善」が予想される。「改善」の定義は「景気拡張の可能性が高いことを示す」であり、景気が回復基調にあることがＣＩ一致指数からも確認されている。



(出所)内閣府「景気動向指数」
(注)直近の2017年2月は第一生命経済研究所による予測値

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。